内分泌・代謝学共同利用共同研究拠点セミナー

生活習慣病解析プロジェクト共催

「未病社会に必要なプレシジョン・メディスン」

講師: 佐藤　孝明　先生
島津製作所フェロー・ライフサイエンス研究所　所長
筑波大学プレシジョン・メディスン開発研究センター・　センター長
生体調節研究所・疾患ゲノム研究分野・客員教授

日 時　2018年 4月24日 火　17:00-18:00

群馬大学生体調節研究所　1階　会議室

日本は、超高齢社会に既に突入してしまっており、健康長寿社会とクオリティライフを目指した最先端の予防医学の確立が切望されています。特に新規がん患者数は100万人/年に到達しようとしています。がんは遺伝子の病気であるにも関わらず、日本は最先端のがん遺伝子解析による適切な抗がん剤の選択など、欧米と比較して5年は遅れてしまっています。

筑波大学は2017年1月1日付けで、日本国内で初めて全ゲノムシーケンス解析とメタボローム解析、プロテオーム解析を統合したオミックス解析拠点を可能にするプレシジョン・メディスン開発研究センター　＜https://rdcpm.tsukuba.ac.jp/＞を設置し、科学的証拠に基づいた病気の診断とその個別化医療への基盤研究を推進しています。本講演では、当センターの概要とこれまでの取組み、更には今後の展望に関してご紹介致します。

ご略歴
1990年大阪大学医学博士（松原謙一教授）、癌研究会癌研究所生化学部研究員（中村祐輔部長）、米国コロンビア大学医学部准教授、理化学研究所分子腫瘍学研究室主任研究員などを経て、現職

群馬大学　生体調節研究所　生体情報ゲノムリソースセンター

お問い合わせ　027-220-8057　畑田　E-mail: hatada@gunma-u.ac.jp